

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-07-01
事務事業名	公園整備事業		根拠法令・要綱等 都市公園法
事業開始年度	S. 31		問合せ先 担当課(室) 都市整備課
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	職・氏名 都市建築係長 磯本直紀
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	電話 0869-64-1834
	小項目 施策	公園緑地	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	公園利用者
目的(何のために)	公園整備を行うことによって、公園利用者の利便性の向上を図るため
行政活動(どのような方法で)	公園施設の整備
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安全で安心して利用でき、かつ、楽しむことができる公園

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	公園施設整備		箇所	1	4	1
	事業費		千円			
	直接事業費			2,190	10,106	1,494
	人件費			4,773	2,503	993
	事業費計			6,963	12,609	2,487
	財源		千円			
	国県支出金					
	受益者負担					
	一般財源			6,963	12,609	2,487
必要人員		人	0.20	0.20	0.11	
結果指標①	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	公園施設整備数		説明			
	結果指標量		箇所	1	4	1
	対前年比		%	-	400.0%	25.0%
	活動コスト		円	2,820,000	12,609,000	2,487,000
単位当たりコスト		円	2,820,000	3,152,250	2,487,000	
結果指標②	結果指標量		人			
	対前年比		%	-		
	活動コスト		円			
	単位当たりコスト		円			

事業の成果			
成果指標名	公園整備箇所数	式又は説明	公園整備工数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	1.00	3.00	1
対前年比	-	300%	25%
到達目標値	1	到達目標年度	毎年度



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A~E> 課題認識 B
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	公園を利用する市民は、子ども連れの家族、近所の住民、桜の季節のみという偏りがある。市民全員が利用してみたいという魅力ある公園を目指す。
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	効率性評価<A~E> 課題認識 B
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	
職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	公園整備にあたっては、費用対効果を十分検討しコスト削減を図っていく。19年度直接事業費減については、工事請負の減による。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> 課題認識 B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
市民参画度			公園利用者の安全性と利便性の向上を図ることができる。

平成20年度の状況		説明	公園1箇所の園路柵改修を実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量①	1 箇所	結果指標量②
	成果指標量		1.00

総合評価		評価区分 <A~E> B	
開園以来老朽化している遊具には、特に注意が必要であり、また、公園内施設にも老朽化している施設がかなりあるため年次的に整備を行っていく必要がある。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	費用対効果	毎年度	安全性と利便性の向上